

半導体 講演会

日時 2024年10月9日(水)

13:20～16:30

会場 名古屋市工業研究所
3階 第1会議室

【第1部】 13:20～14:50



まつがたに・かずお
1989年京都大学大学院修了
後、日本電装株式会社
(現：株式会社デンソー)
入社。半導体結晶成長等の
研究開発に従事。2021年
より現職。工学博士。

「次世代の自動車に求められる技術開発 ～電動化と自動化～」

株式会社デンソー 執行幹部 松ヶ谷 和沖 氏

自動車において解決すべき2つの重要な課題は、環境負荷の低減と安全性のさらなる向上である。中でもCO₂排出量ゼロと、交通死亡事故ゼロに向けたアクションは、この先10年間の喫緊の課題である。

このような状況の下、自動車業界にCASE(Connected(コネクテッド)・Automated(自動運転)・Shared(シェアリング)・Electrification(電動化))と呼ばれる変革が訪れ、新たな技術開発が求められている。

本講演では、CASEの中で電気自動車(EV: Electric Vehicle)に必要な電動化技術と自運運転(AD: Automated Driving)に必要な自動化技術に着目し、技術開発の進展とそれらを支える要素技術、さらには今後の展望について、紹介する。

【第2部】 15:00～16:30



ほんだ・さとし/1975年東京
大学工学部卒業。92-93年独
アヘン工科大学客員研究員。
2017年より現職。センシング
システムの逆問題解析手法・
MBSEの研究に従事。工学博士。

「AI・ビッグデータ時代のセンシングシステム」

慶応義塾大学 システムデザイン・マネジメント研究所

名誉教授・上席研究員 本多 敏 氏

我々は第6期科学技術基本計画のもとで、産業と暮らしを元気にするIoT・CPS(※サイバーフィジカルシステム)による人間中心のスマート社会(Society5.0)の実現、2030年に向けてのSDGsの達成を目指している。

この間のAI技術の爆発的進歩・普及により、学習のための大量データ、ビッグデータがますます重要になっている。中でもVeracity(正確さ)が不可欠であり、IoT・CPSの重要要素であるセンシングシステムが提供するエビデンスの重要性が増している。

本講演では、センシングシステム技術の様々な展開について紹介する。

※現実世界のセンサーデータを仮想空間で分析し、現実世界にフィードバックする仕組み。

1. 開催日時 2024年10月9日(水) 13:20～16:30
2. 会場 名古屋市工業研究所 3階 第1会議室
3. 定員 80名(先着順)
4. 聴講料 会員:6,600円 非会員:12,100円(税込) ※会員=中部エレクトロニクス振興会
5. 申込期限 2024年9月30日(月)
6. 申込方法 上記QRコードまたは下記申込書より、お申込みくださいますようお願い申し上げます。
7. 支払方法 お申し込み後、請求書を郵送させていただきますので、期日までにお支払いくださいますようお願いいたします。
8. 申込先 中部エレクトロニクス振興会 E-mail:cea@eleshin.org



令和 6年 月 日

**-中部エレクトロニクス振興会/技術委員会主催-
10/9「半導体 講演会」参加申込書**

会 社 名	
部 署 名	
役 職 名	
氏 名	
所 在 地	〒
T E L	
E - m a i l	

※ご登録情報は、本件に関する連絡のほか、当会からの各種情報提供に利用させていただきます。

【お問合せ先】 中部エレクトロニクス振興会 事務局

TEL : (052)228-1760 / FAX : (052)228-0997

E-mail : cea@eleshin.org